

123 防災チャットボットの開発等、SIP 国家レジリエンスに関する対策(全国)

概要 要:被災地住民とのコミュニケーションのための「防災チャットボット」の開発や、災害動態等の解析情報の共有を行う「避難・緊急活動支援統合システム」の開発、小エリアの総合リスク評価を行い、市町村長が行う避難判断を支援する「市町村災害対応統合システム」等の開発を行う。

府省庁名:内閣府

【事例】SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」

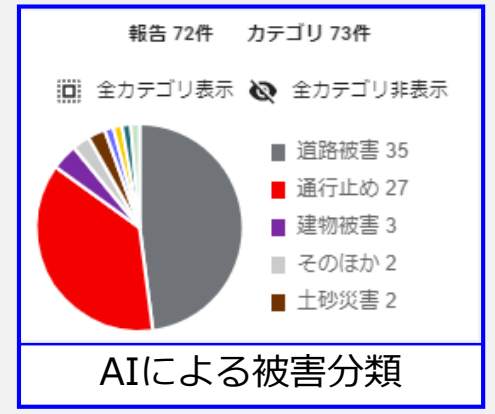
- 実施主体:国、研究機関
- 実施場所:全国76の自治体(令和4年度末時点)
- 事業概要:
災害時に、LINE等のSNS上で、AIが人間に代わって自動的に被災者と対話するシステムである「防災チャットボット」を開発し、より適確な被災状況の把握や避難のための適切な情報提供を実現する。
- 効果:
令和4年台風第14号において、宮崎県椎葉村の被害状況の早期把握に防災チャットボットを活用した。
本部及び現場間のリアルタイムの情報共有を可能とし、超急性期における状況把握に貢献した。

防災チャットボット

LINE等のSNS上で、AIが人間に代わって自動的に被災者と対話するシステム

2022年台風14号:宮崎県椎葉村での活用

- ・ 72件の情報が現地職員等から投稿
- ・ 建物被害、崩土や倒木による通行止め等の早期把握に貢献



(道路被害に関する投稿)
林道竹の枝尾〜一つ戸線
集会センターの先 崩土があり通行不可。
■ 通行止め

